



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に  
ご協力いただき、ありがとうございました！

令和6年度 最終実績額 **6,616,183 円**

一般募金 ..... 6,339,384 円  
歳末たすけあい募金 ... 276,799 円



▲能登町災害ボランティアセンターの様子

集まった募金は約70%が瑞穂区、約30%が愛知県の福祉活動に役立てられます。

**災害支援にも活用されています！**

各都道府県の共同募金会では、毎年3%を「災害等準備金」として積み立て、大規模災害が起こった際の災害ボランティア活動支援など、被災地のために活用しています。  
令和6年能登半島地震では、全国の共同募金会で積み立てている災害等準備金を活用し、災害ボランティアセンター等の支援に役立てられています。

**NEW** いいねマルシェで募金活動を行いました！

今年度、瑞穂区に新しくできた「いいねマルシェ」にて新たに募金活動をさせていただきました。11月24日（日）には学生ボランティアや配分団体の協力により、街頭募金を実施しました。また、10～12月中はマルシェ内の店舗に募金箱を設置いただき、買い物にいられた多くの方々に募金していただくことができました。

街頭募金合計：13,876 円 店舗設置募金箱合計：15,649 円



スマホからも募金できます。

赤い羽根共同募金の詳しい使い道は、赤い羽根データベース「はねっと」で確認いただけます。



**HOT** なきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

(令和6年6月28日～12月31日)  
※要不同

寄付金

- 石川芳之 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 日本キリスト教団 尾陽教会 様
- 匿名 2 件

※お寄せいただいた寄付金は本会地域福祉基金等として受け入れ、その果実(利息)により、社会福祉事業の奨励等、地域福祉の推進に活用させていただきます。

寄付物品

- ミシン プラザ販売株式会社 様
- その他、食料品、お菓子、食器、日用品、毛糸、紙おむつ等を多数の方からご寄付いただきました。

※寄付物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。  
また、未使用の毛糸のご寄付も募集しています。  
ご協力をお願いいたします。

ほっとなつぷやき

編集後記

瑞穂区の子ども食堂は現在10か所（令和7年3月現在：瑞穂区社協調べ）です。令和6年度だけで2か所増えました。一方、平成28年からスタートし、昨年9月に100回の記念開館を迎えた歴史ある子ども食堂もあります。今日では地域福祉活動の一環としてのコミュニティ食堂へ、学習支援の活動も追加拡充へ、などといった時代のニーズに合わせた取り組みも実践されています。何よりも子ども食堂交流会などの場面で、運営するボランティアの皆様の学びあおうとする姿勢に感銘を受けます。（丹）

特集

**みずほっとプランが進んでいます！**  
サービスラーニングの手法を取り入れた福祉教育の実施

トピックス

- 学区探訪 vol.10 陽明学区 ● 瑞穂区のほっとするお話
- こんにちはいきいき支援センターです!! ● HOTなきもち ● ほっとなつぷやき

編集・発行 / 社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 webサイト / <http://www.mizuho-shakyo.jp>

高齢者や目の不自由な方にも専用のアプリで読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができる Uni-Voice コードを載せました。お問い合わせは瑞穂区社会福祉協議会までご連絡ください。



Uni-Voice コード

編集・発行

社会福祉法人  
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会  
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

電話

(052)841-4063 (052)841-4080

FAX

webサイト

<http://www.mizuho-shakyo.jp>

メールアドレス

[mail@mizuho-shakyo.jp](mailto:mail@mizuho-shakyo.jp)



最寄駅 地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅  
下車260m(区役所東方面)



特集 /

みんながずっとホッとできる

# みずほっとプラン

が進んでいます！



瑞穂区の  
地域福祉の推進のために  
求められる

これから**5年間**で  
大切なテーマはなんでしょう

地域福祉活動計画の全体像に  
ついてはこちら



アジア・アジアパラ  
競技大会

「瑞穂区地域福祉活動計画」の計画期間中である2026年にアジア・アジアパラ競技大会が開催され、メイン会場となる瑞穂陸上競技場がある瑞穂区では、障がいの理解促進や障がいのある方の社会参加の促進を図り、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献していくことが求められています。

福祉教育・福祉ボランティア  
体験学習への協力

今回、こうした地域共生社会づくりの必要性の視点を踏まえて、「瑞穂区地域福祉活動計画」の各実施事業のうち、地域における福祉の分野・領域を超えた交流や学びあい、当事者性を基盤とした福祉のまちづくりを進める「福祉教育・福祉ボランティア体験学習への協力」の取り組みをトピックスとして報告します。

## 第5次瑞穂区地域福祉活動計画 ～みずほっとプラン～

瑞穂区の福祉のまちづくりの実現に向けて、地域が抱える様々な課題を住民同士が共有し、住民の力で解決していけるよう住民参加型の地域福祉活動を計画的に展開していくために策定したものです。社会福祉協議会は、住民が主体となって策定し、実施していく計画を支援し、一緒になって取り組んでいきます。

### 今回のトピックス

- 目標3 福祉のまちづくりを進める基盤をつくる
- 方向性7 福祉感の創造 当事者性（相手の立場で自分と向き合う心）を育み、ともに生きる関係性を構築し、地域貢献ができる人材を養成します。
- 実施事業11 サービスラーニングの手法を取り入れた福祉教育の実施

### 福祉教育とは

「福祉教育」は、子どもから大人まで、全世代を対象とした学びの機会

福祉教育は子どもたちの健全な育成を進めるとともに、地域住民の学びを通じて地域福祉の推進を図る、地域に暮らす全世代を対象とした取り組みです。

最近では身の回りの人々や地域との関わりの中から、ふだんのくらしのなかにどのような福祉的課題があるかを自ら学び、課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことでともに生きる力を育むことを目的としています。

#### サービスラーニングによる福祉教育

生活場面や地域活動で気づく課題などについて、さまざまな人・団体と協働（協同）して、地域のひととともに解決に向けて考え、実践する能動的な取り組みを通じ、地域共生社会づくりを担う人と環境づくりを進めます。

#### 地域でともに生きる

サービスラーニングによる福祉教育  
地域課題や福祉課題の発見と課題への関わりから学び、市民性を育む

ふ だんの く らしの し あわせ

### 実施事業

## 堀田小学校での福祉体験学習（高齢者疑似体験）

日時 令和6年10月18日（金） 10:10～12:20（3時限～4時限） 対象 小学6年生 40名

### 実施内容

1. 講話（導入）  
堀田デイサービスセンター職員
2. 高齢者疑似体験  
①階段上り下り ②見え方・聞こえ方  
③歩行器・車いす ④ゴミ出し
3. 振り返り  
グループごとに振り返り
4. 講話（まとめ）  
堀田デイサービスセンター職員



### ここがポイント

#### 地域ボランティア等との協力・連携

- 区内福祉施設職員  
堀田デイサービスセンター職員 …… 2名
- 地域団体  
堀田民生委員児童委員協議会 …… 4名
- ボランティア  
地域のボランティア …… 5名  
地域ボランティアグループかがやき（福祉学習サポーター4名を含む） …… 8名

協力者  
19名

### ここがポイント

#### 区社協によるオーダーメイドの企画調整

- 4月 学校から依頼、キーパーソン（講師）との調整
- 5月 福祉体験学習実施計画の依頼書の作成
- 7月 学校にて打ち合わせ
- 8月 学区地域、ボランティアとの調整
- 10月 福祉体験学習 実施

※実施までの間に、当日協力者との挨拶、資料の配付など

学校・地域に合わせ、  
体験学習を  
オーダーメイドに企画調整

### 体験した生徒の声



これからは誰にでも  
優しくしていきたいと  
思いました。

「福祉」というのは、  
どんな人でも不便なく生活ができるようにするためであり、  
人々が変わっていく必要があることなのだと分かりました。

### 福祉体験学習実施後の取り組み

- 福祉体験学習の翌週、学区で校外学習（フィールドワーク）を実施
- 福祉体験学習で学んだものを実際に地域に出て体験し確認

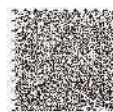
普段、暮らしている  
自分たちの周りに  
どのようなバリア（障害）が  
あるかを実感しました。



### 計画推進委員を募集しています

区社協では、この計画の進行管理を行うとともに、計画の趣旨や理念に沿った事業展開ができるよう、計画推進委員会を設置しており、この計画の趣旨に賛同し、具体的な実践に連携・協力していただく計画推進委員を随時募集しています。

ご興味のある方はぜひお問い合わせください。





食事の様子

## ～‘食’を通して多世代交流 コミュニティ食堂～ “FUTABUCKS CAFE (フタバックスカフェ)”

「子ども食堂について学び、子どもから高齢者の誰もが集まれる食堂をやりたいと思っていました」と話すのは、陽明学区地域福祉推進協議会の生野房江会長です。陽明コミュニティ食堂“FUTABUCKS CAFE (以下「フタバックスカフェ」という)”は、このような思いから始まりました。

実施に向けて、当時のPTA会長・子ども会会長・地域福祉推進協議会役員等と検討し、「ひとり親家庭の子どもが道でフードデリバリーサービスを待つ姿をよく見る」等の声があり、子ども食堂の必要性を確認しました。また、このような子どもだけでなく誰もが集まれる食堂を作ろうと決めました。場所は区政協会の協力と小学校の理解があり、陽明小学校で行えることになりました。



親子で受付



「はい、どうぞ!」

こうして2022年6月にグランドオープンし、毎月第3日曜日の昼食時に陽明小学校の特別活動室で開催し、地域の子どものみならず高齢者までの様々な方々が参加しています。

運営に協力するボランティアから「ひとり親家庭の子どもも含めて地域のすべての子どもに来て欲しい」「共働きファミリーが1食作らずに済む機会となり、役立てているのは嬉しい」「子どもと高齢者が喫茶コーナーで囲碁・将棋をしている姿を見てると嬉しいな」等という声があり、やりがいになっています。

そんなフタバックスカフェの将来について、生野会長は「子どもと高齢者、ファミリーが分け隔てなく遊べる機会、様々な世代が和気あいあいと交流できる場になるといい。また、将来フタバックスカフェに来ている子どもが地域の活動者になってもらえれば…。同時に、若い世代にも地域福祉活動を知るきっかけになればいい」と、未来の地域福祉活動を見据えています。さらに、同地域福祉推進協議会の伊藤和明名誉会長は「小学校は災害時の避難場所でもあるので、普段からフタバックスカフェに来ていると、災害時に来やすくなる。カレー作りは炊き出しのよい練習になっている」と災害時の活動も視野に入れています。



「しっかり食べてくださいね!」

## 瑞穂区のお話

### 名市大学習支援サークル「つばめ」

今回ご紹介するのは瑞穂区内にある「とうあいほかほ子ども食堂」の学習支援で中心のスタッフとして活躍する名古屋立大学の学生の活動紹介です。

活動拠点は市内に2か所あり、学生達は無償で地域の子どもの学習のサポートをしています。

名市大学習支援サークル「つばめ」は、地域の子どもの学習支援活動を行っています。寄附でのご支援はこちらの二次元コードからお願いいたします。



問い合わせ先メールアドレス「つばめ」: [ncu.volunteer.tubame@gmail.com](mailto:ncu.volunteer.tubame@gmail.com)

● 区民の皆さまからのほっとする情報・お写真も募集しております。

# こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その  
1

## 「認知症ケアパス」はご存知ですか??

「認知症ケアパス」は、認知症の症状の進行に合わせて認知症の人やその家族が「どんな症状がある時にどこで何をしたらよいのか」をわかりやすくまとめたものです。

認知症ケアパスによって、利用できる医療・介護サービスなどをあらかじめ知ることができます。認知症の進行状況や症状は個々で異なりますので、あくまでも指標の目安として参考になさってください。



その  
2

## 介護予防事業「瑞穂いきいきミッション」のご紹介!



いきいき支援センターでは、毎年「瑞穂いきいきミッション」を開催しています。パンフレットに掲載している体操に一定期間取り組み、アンケートをいきいき支援センターへ持参いただくと、素敵な景品と交換ができる事業です!今年度の開催は終了しましたが、次年度も開催を予定しています。興味がある方はホームページでご確認いただき、ぜひ次年度の「瑞穂いきいきミッション」に参加してみてくださいね。

## 令和7年度 上半期(令和7年4月～9月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

### 1 認知症家族教室(4月～8月)

対象: 認知症の人を介護しているご家族

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろな不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をとおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

### 2 家族サロン

対象: 認知症の人を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも…)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただければ幸いです。

### 3 もの忘れ相談医による専門相談

対象: もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

| 東部<br>第2金曜日                                         | 西部<br>第3火曜日       |
|-----------------------------------------------------|-------------------|
| 10時00分～<br>12時00分<br>※5月は13時30分～15時30分<br>※6月は第1金曜日 | 13時30分～<br>15時30分 |

| 東部<br>第1水曜日       | 西部<br>第4木曜日       |
|-------------------|-------------------|
| 13時30分～<br>15時30分 | 13時30分～<br>15時30分 |

| 東部<br>第2木曜日                    | 西部<br>第4水曜日       |
|--------------------------------|-------------------|
| 13時30分～<br>15時00分<br>※8月は第3木曜日 | 13時30分～<br>15時00分 |

### ● 瑞穂区東部いきいき支援センター

電話 858-4008 FAX 842-8122

### ● 瑞穂区東部いきいき支援センター分室

電話 851-0400 FAX 851-0410

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

### ● 瑞穂区西部いきいき支援センター

電話 872-1705 FAX 872-1707

担当地域 御廻・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

お友だち  
募集!



公式 LINE



ホームページ



お問い合わせ先・申込先